

■ 新庁舎建設基本計画（答申案）市民説明会 開催報告書

1. 開催概要

目的	新庁舎建設基本計画策定委員会の答申案について、計画案内容の市民周知と市民意見を反映させるために市民説明会を開催する。
日時	平成26年11月16日（日）10：00～【約120分】
場所	男女共同参画センター（アミュービル4階） 会議室1・2

2. 参加者等

参加者人数：22名

新庁舎建設基本計画策定委員会：10名

事務局 市：企画部長、新庁舎建設室長、新庁舎建設室3名 計5名

コンサルタント会社：（株）ニュージェック2名

3. 進行内容

時間	内 容
10：00	委員長挨拶
10：05	策定委員紹介
10：15	答申案内容説明
11：00	質疑・回答
12：00	閉会

4. 主な質疑・意見等と回答内容

No	質疑・意見等内容	回答
1	<p>・今年5月に開催した中間報告の際には7千5百㎡、30億円と言っていたのに、半年もたたないうちに1万㎡、50億円になるとは、この間どの様な議論がされてきたのか説明をして貰いたい。</p>	<p>・5月に開催した説明会は、策定委員会における審議の中間報告として、基本理念についての説明でした。その際に質疑を受けた規模や事業費については、今後の審議になるとお応えしました。その後の審議により、新庁舎に必要な機能がまとまりましたので、それを実現するための規模を審議し、その規模を造るために必要な事業費を算出しました。（事務局）</p>
2	<p>・今まで説明をしてきた事業費から、増額となった理由を教えて欲しい。</p>	<p>・昨年公表した「清瀬市役所庁舎耐震化整備方針」では、建て替えの事業費を約30億円としていました。今回お示した事業費との違いは、まず、計画規模の違いがあります。昨年公表した整備方針の計画規模は、現在の本庁舎にいる職員を元に算出した必要面積の7千5百㎡でした。今回は、分散化した組織を集約することで配置職員数が増えたことと、市民利便機能や防災機能を含めたことで、必要面積を1万㎡としました。この計画規模の違いが、前回と今回の事業費が違う大きな要因です。（事務局）</p>
3	<p>・財政計画で地方債を約20億円とみているが、高齢化が進行している状況で、少子高齢化が進み、後の世代に借金を残すことになることを危惧している。 想定人口を7万5千人としているが、世代別の人口構成など将来人口推計がなされているのか。</p> <p>・清瀬市は担税能力に乏しく、要望に対して財政が厳しいと言い続けてきたにも関わらず、負担の限度を設定せずに計画を策定していいのか。 50年後、100年後の見通しは立たないような社会情勢の中、現在の人口規模で財政負担を考える</p>	<p>・人口推計については、現在策定中の長期総合計画の中で検討をしていますが、急激な人口減少にはならないと推計しています。</p> <p>問題は、高齢者が増加して、生産年齢人口が減少することで、将来世代の公債費負担が一番大きな問題だと感じています。新庁舎の問題のみならず、市全体の活性化が図れなくなりますので、子育てしやすい環境を整えるなどの活性化策を検討していることが一つあります。</p> <p>公債費の状況を見ますと、平成7年に完成した清瀬駅北口再開発事業の起債償還が終えるので、新庁舎事業費の公債費により、市の財政状況が厳しくなるということはありません。将来負担を考えて、地方債と建設基金の配分を考えています。</p> <p>今回の計画では、特に建物の長寿命化や更新に配慮することが求められていますので、公共施設の性格上、後年度にも均等に事業費負担をして貰うこ</p>

No	質疑・意見等内容	回答
	<p>べきではない。今後更なる高齢化を迎え、独居老人や孤独死の問題など新たな課題が想定され、将来の財政負担が心配である。負担に耐えうる根拠資料を出して欲しい。</p> <p>・道州制、地方創生の議論の中で、20年後、30年後に、清瀬市がこのままの状態であると思わない。生産年齢が減少し、非正規雇用の労働者が増える中で、将来の担税力の心配をして欲しい。</p>	<p>とになりますが、他の市民サービスに影響が出ることはないように計画しています。（事務局）</p> <p>・財源に対する不安は委員としてもありました。個人的に色々な人に意見を聞いて確認をしました。少子高齢化、人口減少は清瀬に関わらず他市でも同様に生じてくる課題です。人口が減るならば、庁舎規模を小さくすることも考えましたが、逆に新たなサービス需要が発生することも考えられることと、現在の庁舎にない機能を求めた結果、必要規模が1万㎡になりました。今後の議論の中で、その様な機能が不要なく、できる限り小さい規模にしたいということであれば、将来負担を少なくすることは可能だと思います。自然災害が発生した時に、市役所が機能しなければ復興作業も進まないなので、今回の施設計画に私は納得をしました。（委員）</p>
4	<p>・事業費は見積もりを取って出しているのか、他市の庁舎整備事例の概算で出しているのか。</p>	<p>・設計の段階ではなく、建築内容の詳細が決定していないので、見積もりという形での積算はしていません。先進地事例や、建築物価状況を加味して概算で出しています。（事務局）</p>
5	<p>・事業費の概算が今後変更する可能性があるとのことだが、どれくらい変更することを想定しているのか。例えば上限を決めて、それを上回る場合は見直しをするなどの考えはないのか。</p>	<p>・今は基本計画の段階ですので、事業費については、設計をしてみなければ詳細な金額は出せないなので、概算としています。答申案では、規模について1万㎡を上限としています。南側敷地取込み案が答申案では示されていますので、この事業費50億8千万円が上限だと認識しています。この計画案が市長へ答申された後、市として更に詳細な計画を検討して、最終的に市としての基本計画を策定する予定です。その際には、更に詳細な事業費、財政計画の検討を行います。（事務局）</p>

No	質疑・意見等内容	回答
6	<p>・設計の段階で詳細な事業費が分かるということは、今回の事業費が参考にもならないということなのか。</p>	<p>・参加者の皆さんの財政、事業費に対する懸念が良く分かりました。現在は物価・資材等の高騰、建築労務者の不足など、大変悩ましい状況にあります。先ほどの設計で事業費が変わるということは、設計が終わった段階で、その時の物価状況で事業費が決まるという意味です。物価が動かなければ現在の事業費内で設計をするということは当然のことですので、設計で新たな要素を加えていくという意味ではなく、設計は予算の範囲で進めるということを理解してください。</p> <p>設計を進めるまでには時間的な猶予があるので、状況を見ながら、それまでに色々な検討を行い、最終的には市長が決定をしていくことになると思います。（委員）</p>
7	<p>・今の計画では、工事時期がオリンピックと重なる。既に人材不足や資材高騰などの課題が出てきているが、計画通りの予算でできるのか。先行きが不透明な中で、諸課題が発生した時に予算が膨らむことを懸念している。</p>	<p>・事業費については、委員会でも議論がありました。事業費の概算は今現在の実勢価格で算出しています。工事費の動向については不透明な部分がありますので、工事を着手する際に判断をしていきたいと思います。（事務局）</p> <p>・工期とオリンピック開催時期との重複の件ですが、委員会でも得策ではないとの議論がありました。スケジュールの繰り延べについても議論を行い、結果、事業スケジュールについては、「現時点での予定であり、今後変わる可能性があります」として、事業費についても同様に記しました。（委員）</p>
8	<p>・建て替えには異論ないが、基本計画に書かれている内容を全て実現すると相当なコストになる。障害者、高齢者に配慮したユニバーサルデザインなど、できる限りシンプルなデザインにして相対的にコストを抑えて、良いものを考えて貰いたい。</p>	<p>・基本計画の中で、デザインは華美なものを避け、機能美が溢れるものとされていますので、この趣旨に沿い、進めていきたいと思います。（事務局）</p>
9	<p>・事業手法については、設計と施工を分けて厳格に監理して貰いたい。</p>	<p>・設計と施工を分離して発注する従来型方式の方が、市民意見を反映できるとされていますので、従来方式で検討を進めます。設計者選定については、プロポーザル方式で検討を進めます。（事務局）</p>

No	質疑・意見等内容	回答
10	・職員教育を含めたソフト面について、例えばワンストップサービスの実施など、サービスの向上を含めて検討されたのか。	・策定委員会の議論では、基本的機能「分かりやすく快適な窓口機能の実現」の中で、ワンストップサービスの実施などを検討していくことが必要だとされました。市民にとって使い易い窓口にする方策を検討したいと思います。（事務局）
11	・高齢者は市役所まで行くことが大変なので、市民に身近な地域センターと市役所で事務の連携ができないのか。扱う事務の仕分けと、周辺施設との機能の整合性を図り、新庁舎建設を考えるべきだと思う。	・公共施設の適正配置について、総務省から公共施設等総合管理計画の策定の要請を受けています。この計画に基づき、公共施設間の連携について検討していきます。（事務局）
12	・5月の説明会の時もそうだが、質疑だけで、賛成、反対を表明する機会がなかった。議会では、反対意見がなかったと説明がされたことが不愉快だった。	・策定委員会の答申書を受領した後に、市としての基本計画を策定します。基本計画策定の段階で、今回の様な市民説明会やパブリックコメントの機会を設け、市民の皆さんのご意見を伺いたいと思います。（事務局）

5. 参加者アンケート

意見内容
・予算の話無しで建物の話をするのは難しい。どの様に表明すれば反対したことになるのか。予算についてはっきりしないから、反対と今の時点で言えないのか。
・新庁舎建設については大反対でした。20億円もの借金をして建て替える意味があるのか。子どもたちにこの借金をかぶせて我々親は死んでいくのは困ったものだ。何故、コミプラ（東高校跡地）を上手く利用するということを考えなかったのか。市庁舎が美しくなっても借金詰めの生活は困る。策定委員会の中にもっと財源のことを考える人材はいなかったのが、今となっては残念だ。美術面とか機能ばかりじゃない、一番は財源です。
・便所の構造について 便所（小便器、大便器、手洗い場）に鞆を置ける棚を設けて欲しい。
・ATM コーナーについて ATM を市役所の執務時間外も使えるようにして欲しい。

<ul style="list-style-type: none"> ・児童センターのようなガラス張りは答申案の省エネルギーと反する面もあるので考慮して欲しい。 ・財政面はかなりシビアに検討して欲しい。 ・課や係を統合した後の空いたスペースの活用もどういう計画があるのかも示す必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の税を担う人口年齢別統計を出してください。現行の延長線上の発想は改めて下さい。
<ul style="list-style-type: none"> ・P17の断面図では議会の場所が何処になるか分からないので教えてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと財政／費用計画を厳密にして、プライオリティ（優先順）をおいて、下位のものは削るように。
<ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞きましたが、資金計画が当面動いているとの説明であり、果たして庁舎の改築が必要なのだろうかとさえ思います。 ・分散している職員を本庁舎に集めるとのことですが、職員は市民の身近にいた方が良いと思います。 ・この計画が平成33年完成ならば、避難センターになっている野塩・下宿市民センターの耐震補強を一日も早く実施していただきたい。市庁舎の後ということでは、7年間災害に備えなしということになります。

以 上